

委員長 石田裕一

【緊急課題】正副委員長まとめ分

- 1 介護施設・福祉施設職員をはじめとした他県から帰宅者などへ市独自でPCR検査の拡充を行うこと。

(宮崎) 最近は、感染経路不明なケースもあることから、県外移住者に限定するかどうかは悩むところですが、ワクチン接種も進んでいることや、PCR検査はその時点だけの判定であることから、緊急提言であれば、この内容で良いと思います。

(上野) 数人の委員から指摘されている具体的には、クラスターの発生しやすい介護施設新規入所者だけではなく職員、また出入り業者などの検査を広げること。

- 2 緊急的にフードパントリーを行っている団体に対し支援を行うこと。

☞ 現在行っている団体への支援でいいか。

(牧田) 行政の考えもあるので、議会としては指定しなくていいのではないかな。既存の団体、もしくは他にできるところがあればそれでいい。

市内児童扶養手当受給者へ周知を行うこと。(現在1,200世帯中1割の人が登録利用)

(牧田) これはすでに課でやると言ってくれている。問題は希望者が増えたときに対応できるように団体が自立できるまでの間支援をしてほしい。

- 3 出産の支援として、里帰り出産や親が帰省しにくい状況にあるため、不足している産後ヘルパーの増員を図ること。

☞ どのくらい産後ヘルパーが不足しているのか。

当市に嫁いでいる県外出身者で、里帰り出産が困難な方への支援でいいのか。

(牧田) 「出産支援として」この文言は削除。(出産支援ではなく、出産後の支援) 支援対象は例示であり、固定しなくてもいい。

4 事業者への減収補てんの支援をすること。

(牧田) 再度、事業者経営支援金を支給する。

(宮崎) 中小企業、個人事業主向けの支援策は、今年度は昨年度よりも申請スピードも早く、また申請多数で、既に予算に達して締め切った事業や申請期限が迫っている事業もあります。まずは、同様の支援の延長、継続を望みます。

(上野) 大きな影響を受けている事業者への支援を継続拡充させること。また国に対してその支援制度を行うこと。

5 生活困窮者への支援支給を強化すること。

6 市独自で医療機関への減収補てんを行うこと。

☞ 4～6については、現在市が行っている事業以外で、他に実際どのような人が、どのような支援を求めているのか、具体的な支援を示す必要があるのではないか。

7 かかりつけ医のワクチン接種対応について、一覧表で示し該当者に周知すること。

☞ 理事者は4月27日の説明で、ワクチンの「個別接種実施医療機関一覧表」を示しているが、このほかにどのような周知を求めるのか。

(滝沢) 医療機関がどのような条件で接種を行っているのか、その情報を出すということで、その情報提供だけではなく、市に対し、各医療機関へ「接種へ柔軟な対応」要望することを提言する。

(上野)

* 市としても国の政策決定を待たずに独自の支援制度を行うこと。

* そのために財政調整基金を思い切って活用すること。

(滝沢)

* あらかじめ提言書(案)を準備したほうがいいと思う。

(宮崎)

* 提言書の書き方は、これまで同様、タイトルと説明文の形にしたほうがいいと思う。